

歯学部授業計画表（シラバス）の利用について

- 各科目については授業基本情報として、「授業科目名」のほか「ナンバリング（※1）、期間、開講曜限、科目分類、学年、単位数」が原則として書かれている。
（※1）ナンバリングについては、下記に従って記載している。（各科目の開講年度により異なる。）

【2019年度以降の開講科目】

ナンバリングの先頭に記載されたアルファベットは、それぞれ下記を示す。

A：教養系、B：基礎歯科医学系、C：臨床歯科医学系、D：関連医学系、E.総合歯科医学系
なお、2ケタ目は詳細な分類を表す。

※2019年度から2022年度に開講された「海外英語研修」のみ、ナンバリングの先頭に記載されたアルファベットは、下記を示す。

L：一般教養系（Liberal）

【2018年度以前の開講科目】

ナンバリングの先頭に記載されたアルファベットは、それぞれ下記を示す。

L：一般教養系（Liberal）、B：基礎歯科医学系（Basic）、C：臨床歯科医学系（Clinical）、
S：社会歯科医学系（Society）、M：関連医学系（Medical）、G：統合歯科医学系（General）

また、授業概要情報として、「一般目標、コア・カリキュラム、コーディネータあるいは責任教員、サブ・コーディネータ、実務経験のある教員による授業、指導教員、指導方法、テキスト、参考書、評価方法、評価基準」等が原則として記されている。

- 授業計画詳細情報には、原則として「授業回数、日程、担当教員、大項目、中項目、小項目、学習目標、準備学習」が順に記載されている。
- 授業等は、原則として授業計画表（シラバス）に記載されているとおりに行われるが、進行上変更となる場合があるので、各科目の責任教員の指示に従うこと。

これは、授業の目次ともいうべきものであり、その順に従って内容も細分されている。

1回（又は複数回）の授業ごとに学習目標を提示することで、授業の概要をより詳しく把握できるようになっている。授業に対する各自の理解度を計る一助にするほか、予習・復習、授業欠席時の自習に役立てて欲しい。

単位制度と学修時間

単位とは、学修の量（時間）を一定の基準に従って計算し、数字で表したものである。単位数は科目によって異なる。

単位数は、「大学設置基準」に基づき、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業による教育効果と授業時間外に必要な学修（自学自習・補講）を考慮して設定されている。

■単位の計算基準は次のとおり定めている。

〔講義・演習科目〕15時間から30時間までの授業と、自学自習をもって1単位とする。

〔実習・実技科目〕30時間から45時間までの授業と、自学自習をもって1単位とする。

学修時間には、予習・復習等、授業外での自主的な学習が含まれるので、学生は、授業を受講するにあたり、授業計画表（シラバス）を参照し自主的に予習・復習を行うこと。